

ANCA 関連血管炎に対する治療を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026 年 3 月 1 日
アレルギー・膠原病内科

千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科では、「PR3-ANCA 陽性 ANCA 関連血管炎患者の鼻・副鼻腔 CT 画像による再発リスク予測」に関する研究を行っております。今後の治療に役立てることを目的に下記に該当する ANCA 関連血管炎であった方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

1998 年から 2023 年までの間に千葉大学医学部附属病院、国保旭中央病院、下志津病院、千葉市立青葉病院、千葉労災病院、千葉県済生会習志野病院、成田赤十字病院、千葉東病院、獨協医科大学病院、山梨大学医学部附属病院、Cambridge University Hospital、Hôpital Cochin (Hôpitaux Universitaires Paris Centre)、Mount Sinai Hospital、旭川医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センター、北海道大学病院、慶應義塾大学病院、京都府立医科大学附属病院、金沢大学附属病院、群馬大学医学部附属病院、香川大学医学部附属病院、高松赤十字病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、昭和医科大学、新潟大学大学医歯学総合病院、東京女子医科大学、東邦大学医療センター大森病院、富山大学、田附興風会医学研究所北野病院、京都大学医学部附属病院、聖路加国際病院、Skåne University Hospital、University of Brescia において血液検査で PR3-ANCA (c-ANCA を含む) 陽性かつ、ANCA 関連血管炎と診断された方

1. 研究課題名

「PR3-ANCA 陽性 ANCA 関連^{けっかんえん}血管炎患者の鼻・副^{ふくびくう}鼻腔CT 画像による再発リスク予測」

2. 研究期間

2024 年承認日～2027 年 03 月 31 日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

ANCA 関連血管炎患者さんのうち血液検査で PR3-ANCA という項目が陽性の方は病気のぶり返し（再発）が多いことが知られていますが、その要因はまだよくわかっていません。鼻や副鼻腔の中の細菌が病気の成り立ちや再発に関与しているという報告があることから、私たちは鼻・副鼻腔の大きさや形に細菌が繁殖しやすい特徴がある方は再発しやすいのではないかと推察しています。

この研究では対象患者さんの診療録に記載されている情報や血液検査の結果、鼻・副鼻腔の CT 画像をさかのぼって集め、人工知能を用いて解析を行い、鼻・副鼻腔の形における再発の予測因子を検討します。

なお、本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えたものを千葉大学医学部附属病院へ提供し、解析がおこなわれます。氏名等と研究 ID との対応表は集めた機関以外には提供されません。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている生年月、年齢、性別、診断名、既往歴、血液検査の結果、治療経過、治療薬の種類、副鼻腔・鼻の CT 画像、再発歴の有無など

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院	アレルギー・膠原病内科 古田 俊介
共同研究機関名	研究責任者
国保旭中央病院	アレルギー・膠原病内科 加々美 新一郎
下志津病院	リウマチ科 杉本 豊彦
千葉市立青葉病院	リウマチ科 小林 芳久
千葉労災病院	アレルギー・膠原病内科 玉地 智宏
千葉県済生会習志野病院	リウマチ膠原病アレルギー科 高橋 成和

成田赤十字病院	第二リウマチ・アレルギー内科 横田 雅也
千葉東病院	臨床研究部 自己免疫疾患研究室 大矢 佳寛
獨協医科大学病院	リウマチ・膠原病内科 池田 啓
山梨大学医学部附属病院	リウマチ膠原病内科 中込 大樹
Cambridge University Hospital ケンブリッジ大学病院（イギリス）	Vasculitis and Lupus Service Prof David Jayne
Hôpital Cochin (Hôpitaux Universitaires Paris Centre) コシャン病院（フランス）	Service de Médecine Interne MCU-PH Dr. Benjamin Terrier
Mount Sinai Hospital マウント・サイナイ病院（カナダ）	Division of Rheumatology associate professor of medicine Dr. Christian Pagnoux
旭川医科大学病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 岸部 幹
埼玉医科大学総合医療センター	リウマチ・膠原病内科 倉沢 隆彦
北海道大学病院	リウマチ・腎臓内科 河野 通仁
慶應義塾大学病院	リウマチ・膠原病内科 秋山 光浩
京都府立医科大学附属病院	膠原病・リウマチ・アレルギー科（免疫内科） 川人 豊
金沢大学附属病院	腎臓・リウマチ膠原病内科/公衆衛生学 原 章規
群馬大学医学部附属病院	腎臓・リウマチ内科 池内 秀和
香川大学医学部附属病院	血液・免疫・呼吸器内科学 土橋 浩章

高松赤十字病院	膠原病・リウマチ内科 亀田 智広
自治医科大学附属さいたま医療センター	耳鼻咽喉・頭頸部外科 吉田 尚弘
昭和医科大学	医学部内科学講座 リウマチ・膠原病内科学部門 柳井 亮
新潟大学大学医歯学総合病院	腎・膠原病内科 小林 大介
東京女子医科大学	膠原病リウマチ内科学分野 樋口 智昭
東邦大学医療センター大森病院	東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野（大森） 川添 麻衣
富山大学	医学部第一内科 加藤 将
田附興風会医学研究所北野病院	腎臓内科 遠藤 知美
京都大学医学部附属病院	免疫・膠原病内科 日和 良介
聖路加国際病院	リウマチ膠原病センター 田巻 弘道
Skåne University Hospital スコーネ大学病院（スウェーデン）	Professor, Senior Consultant. Section of Rheumatology Dr. Aladdin Mohammad
University of Brescia ブレシア大学（イタリア）	Associate Professor Director of the Nephrology Unit Director of the School of Specialization in Nephrology Dr. Federico Alberici

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院 アレルギー・膠原病内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等

に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院 病院長：大鳥 精司

連絡担当者

アレルギー・膠原病内科 高橋 達郎

043(222)7171 内線5531

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。